



# 第51号

## 今号の主な内容

- 決算審査……………①～⑥
- 一般質問……………②～⑧
- 議決一覧・補正予算……………⑦
- かつこうのさえずり/お知らせ/今後の予定……………⑧

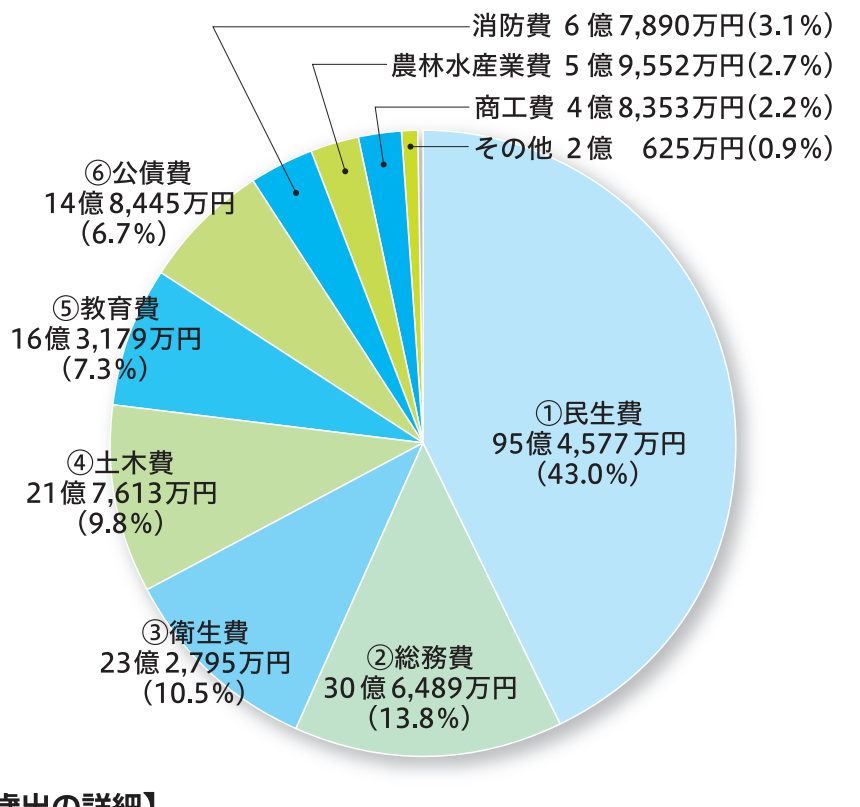
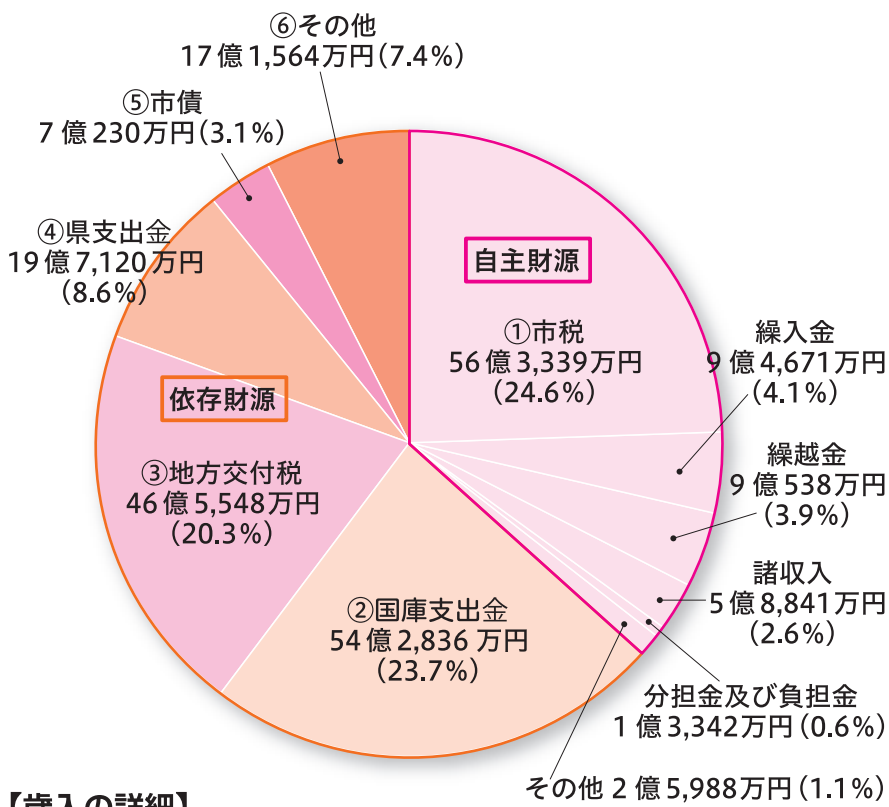
# 令和4年度決算を認定

審査のために設置した分野ごとの専門委員会においてピックアップされた「重点事項」と若者定住の提言反映の確認および議員個々の視点に従って審査・認定しました。

## 【一般会計】

### 歳入総額229億4,017万円

### 歳出総額221億9,518万円



### 【歳入の詳細】

項目	内容	項目	内容
①市税	市民から納めていただいたもの 市民税:27億8,955万 固定資産税:22億6,346万等	④県支出金	県から交付される資金で、特定の事業にあてられるもの 県負担金:11億5,187万 県補助金:6億9,456万等
②国庫支出金	国から交付される資金で、特定の事業にあてられるもの 【国庫負担金】 民生費負担金:18億2,161万 衛生費負担金:1億8,252万 【国庫補助金】34億1,001万等	⑤市債	資金調達のために負担する債務(借金) 総務費:2億1,899万 農林費:1,350万 土木費:4億3,930万 教育費:1,600万等
③地方交付税	財源の不足する自治体に交付されるもの	⑥その他	県に納められた地方消費税が交付されるもの

### 【歳出の詳細】

項目	内容	項目	内容
①民生費	高齢、児童、障がいなどの社会保障に要する経費 社会福祉費:38億9,137万 児童福祉費:49億7,682万 生活保護費:6億7,731万等	④土木費	道路、河川、公園などの整備・維持管理、都市計画等のまちづくりに要する経費 道路橋梁費:13億1,637万 河川費:1億9,619万 都市計画費:6億5,601万等
②総務費	選挙、庁舎管理や他の項目に属さない全般的な経費 総務管理費:24億9,575万 徴税費:3億4,177万 戸籍住民基本台帳費:1億1,650万等	⑤教育費	教育委員会の運営等に要する経費 教育総務費:3億426万 小学校費:3億2,498万 中学校費:1億8,339万 社会教育費:1億2,945万 保健体育費:6億7,391万等
③衛生費	保健、衛生、環境、廃棄物などに要する経費 保健衛生費:10億9,237万 清掃費:12億47万等	⑥公債費	借金返済の経費

## 歳入の主な審査

### 《市民税》

個人分の収納率増は、納付しやすい環境整備として取り組んできた「コンビニやクレジット収納」等の利用促進が1つの要因と捉えている。法人分は、早期に滞納処分して換価できたことが直接的に影響していると捉えている。

### 《たばこ税》

予算額は、3年度実績と3年10月の税率改正の見込みにより1,700万円増としたが、たばこの売り上げ本数が2.4%減にとどまるなど見通しが甘く、2割以上の歳入増につながったと捉えている。

### 《特定防衛施設周辺整備調整交付金》

約1億2千万円の歳入は、小中学校児童生徒用机イス購入事業、小中学校放送設備改修事業、小学校遊具等更新事業、公園遊具等更新事業、小岩井駅前広場トイレ整備事業など9事業に充当している。

### 《県支出金》

地域経営推進費は、3年度「スマートウェルネスシティ推進事業」の採択により大きく収入が伸びたが、4年度は継続事業として設定したこと、また、新規1事業の追加により減額したと捉えており、約463万円の歳入となった。

# 若者定住 提言書に対する市の進捗状況をチェック!

## 総務教育分野

### 《滝沢市地域づくり活動推進補助事業》

**【問】** 事業の展開は。  
**【答】** 元村地域、五龍のフジ保全事業に30万円。篠木地区、大釜駅前賑わい創出事業に20万円。東部地域、やまゆりの里整備事業に10万円を3団体に補助しました。

**【問】** 支援職員の関わりは。  
**【答】** 事業問わず11の地域づくり懇談会へ各3名、若手、中堅、総括職員を配置しています。

### 《滝沢市学校教育振興協議会交付金事業》

**【問】** コミュニティスクール実施の内容は。  
**【答】** 平成30年度に「滝沢市学校教育振興協議会」を立ち上げ、令和4年度は規約の作成、委員の委嘱、委員会の開催などを手伝っています。

**【問】** 地域と学校の連携は。

**【答】** チャグチャグ馬コにふれあう会や伝統文化、農業などを体験する事業に取り組んでいます。中学生は地域の草刈りやスノーバスターズでも活躍しています。

## 産業建設分野

### 《公園維持管理事業》

**【問】** 公園の遊具更新の優先順位は。  
**【答】** 総合公園は「滝沢総合公園施設長寿命化計画」に基づき行いました。一般街区公園は使用禁止になっている遊具を優先に、地元自治会と協議して行っています。

**【問】** 遊具の点検は。

**【答】** 年に一度、専門の会計年度任用職員が基準に基づいて行っています。

### 《空き家対策推進事業》

**【問】** 空き家バンクの登録件数を増やす取り組みは。

**【答】** HPや広報、滝祭でブースを作り制度のPRを行いました。

**【問】** 不動産の相談先は。

**【答】** 「全日本不動産協会岩手支部」と「岩手県宅建取引業協会」と協定を締結し、仲介業者を紹介できるようにしています。

## 環境厚生分野

### 《たきざわ出産・子育て応援事業》

**【問】** 新規事業だが、継続的支援が必要では。  
**【答】** 「こどもまんなか滝沢」の市政運営に合致しているため、継続を考えています。

### 《健康づくり事業》

**【問】** ウォーキング事業の収集データの活用は。  
**【答】** 効果、データは今後の事業の指標となります。

# 専門委員会でピックアップした事業をチェック!

## 《学校教育施設の老朽化》

**【問】** 学校現場からの修繕要望に対する実績および成果は。

**【答】** 小学校は要望103件中36件対応しました。ここ数年は10件前後しか要望対応できませんでしたが、4年度はより多く対応でき、学校の安全安心な環境整備が図られたと捉えています。

中学校は要望54件中26件対応しました。小学校同様、例年より多く対応できましたが、もともと要望が少ないため、引き続き対応していきます。

**【問】** プール改修基本計画検討業務の具体的内容は。

**【答】** 小学校は滝沢中央小をのぞく12校のプールで既存施設の劣化状況の把握、改修または撤去、新設のための概算工事費やランニングコスト



の算定を行い、改修の優先順位を選定することで、今後の改修にかかる基本計画策定の基礎資料を作成するために実施しました。

## 《不登校対策》

**【問】** 不登校児童生徒数の増加の要因は。

**【答】** 生活リズムの乱れや無気力、人間関係の悩みによるもの等が多く、人間関係の構築が苦手な子どもが増えているのが要因と考えます。



## 《中心拠点形成》

**【問】** 向新田線道路改良舗装事業の進捗状況は。

**【答】** 進捗率は約20%です。4年度に軟弱地盤対策のため、サーチャージ盛土を行いました。

**【問】** 滝沢中央スマートIC周辺および岩手県立大学周辺の土地利用にかかる協議、検討の状況は。

**【答】** 滝沢中央スマートIC周辺は、いくつかの課

題があります。隣接する盛岡環状線の交通量の混雑度が飽和状態であり、解消に向けた道路環境整備が必要です。さらに、盛岡西廻りバイパス北バイパスの線形を見定めながら計画する必要があります。

また、当地区は農振農用地で、周辺に住宅地が立地しているため、住環境への影響などの調査を十分に検討する必要があります。一つひとつ課題を解決して土地利用計画を進めていきたいと考えています。

県大周辺の土地利用は、現在IT産業集積の拠点化をめざしており、当該地区の市街化区域の編入に向けた都市計画の変更を進め、県、盛岡市および矢巾町と事前協議を行っています。

今後、関係機関の事前調整がスムーズに進めば、区域区分の随時見直しで、最短で6年度の市街化区域編入をめざしたいと考えています。

## 9月会議一般質問

**【問】** 県の農作物災害復旧対策事業の発動見込みは。

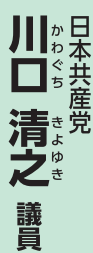
**【答】** 8月22日現在、収入保険加入者は8名、果樹共済加入者は13名です。

**【問】** 本市果樹農家の収入保険と果樹共済への加入状況は。

**【答】** 8月28日現在で申請件数が33件、申請金額が2120万8千円です。

**【問】** 周知の方法は。

**【答】** 対象者は大部分を把握しているため、個別に通知しています。関係団体にも事業説明を行い、



日本共産党 川口 清之 議員

**【問】** 本市の凍霜害について 畜産等経営継続支援 給付金事業について 等

**【答】** 7月28日付の通知により実施の連絡があり、本市でも同事業を実施する予定です。

**【問】** 滝沢市畜産等経営継続支援給付金の申請件数と金額は。

**【答】** 県内の自治体でも加齢性難聴者に対し、補聴器購入補助の実施の考えは。

**【問】** 加齢性難聴者への補聴器購入補助の実施の考えは。

**【答】** 県内の自治体でも加齢性難聴者に対し、補聴器購入の一部助成の事業が行われています。本市でも高齢者の認知機能の低下を防ぎ、会話を楽しみながら明るく閉じこもらない日常生活を支えるため、適切な支援を検討します。

**【問】** 在宅医療の担い手となる人材確保の具体的な対応方法は。

**【答】** 今後求められる技術力を踏まえた職員の育成や技術の継承が必要と捉えており、県が主催する

**【問】** 安全・安心な社会資本を確保するため、新技術の実装などの担い手を確保する方策は。

**【答】** 災害に強い地域づくりを進め地域の活力を高められるよう、関係する部署の連携はもとより多角的な視野を持った職員の育成に努めます。

**【問】** 安全・安心な社会資本確保の担い手について 等

**【答】** 今年度、県が策定する次期保健医療計画の方針を注視し、その取り組みに連動して安定した在宅医療体制の整備に向けて、県や盛岡圏域の関係機関と連携を図ります。

**【問】** 医療・福祉サービスの担い手について 等

**【答】** 道路メンテナンス会議を始め、各種研修会等に参加するなど職員の育成に努めます。



会派に属さない議員 奥津 一俊 議員

# 【歳出審査】総務教育分野

## 地域自治活動事業

**Q:** 地域づくり懇談会の市民活動は。  
**A:** 自治会連合会への助成金と地域コミュニティ等の助成事業費補助金の交付が主な事業であるが、市民の活動は参画協働事業で活動を展開してきました。

## 地域人材育成・交流事業

**Q:** 交流を通じた地域への成果は。  
**A:** 自地域への直接的な還元はこれからであると捉えています。活動的な人材が育つことで地域の活性化に繋がり、本市の価値が向上するものと考えています。

## 災害対策事務

**Q:** 想定災害に対する災害用物資の備蓄箇所が防災マップに掲載されていないが、備蓄場所からの輸送手段、ルート等の計画は。  
**A:** 市役所とビッグルーフ滝沢の防災倉庫の2箇所に備蓄しており、輸送手段は地域防災計画に記載されているほか、企業と災害連携協定を締結しており、災害発生地域や規模を勘案して適時判断していきます。



小学校の遊具などの更新工事として滝沢小学校、滝沢第二小学校、鶴飼小学校、滝沢東小学校で実施されました。

現地視察では滝沢第二小学校の校庭にて遊具の確認をしました。

◀ 滝沢第二小学校の遊具

## 消防団等活動事業

**Q:** 各分団維持への補助は。  
**A:** 修繕などの経費は公費負担ですが、運営経費や消耗品は各分団で負担しており、今後に向けた検討が必要と捉えています。



## 地域愛着向上事業

**Q:** まちづくりキットを利用した子ども達の意見の反映は。  
**A:** すぐろく形式で滝沢のいろいろな地域を知ることができることから、子ども達にとっても好評でした。子ども達の意見は今後活かしていきます。

## 庁舎等改修事業

**Q:** 旧公民館ホールの地盤調査などと本庁舎の大規模改修は。  
**A:** 庁舎の大規模改修に向けて現在、民具保管庫として使用中のホールに大書庫の設置を検討しています。そのために床の1箇所をボーリングし、重量負荷の調査をしました。

### 9月会議一般質問



会派に属さない議員  
藤原治 議員

○盛岡赤十字病院誘致の公約について  
 ○中心拠点の形成について 等

**問** 病院誘致の主たる根拠をハザードマップ上、危険な場所としているが、防災対策はその自治体や施設の管理者が対策すべきである。  
**答** 盛岡市内の病院の危険性を滝沢市長が述べるのではなく、県全体や広域の医療機関の配置の観点から要望すべきでは。  
**問** 確かに最終的な判断は盛岡赤十字病院や関係機関がすることですが、私の政治信条として、市民への医療提供体制の充実を図るため、課題を提起し、本市に移転することの優位性を関係機関に訴えています。  
**問** 優位性の一つに本市に立地する自衛隊を挙げているが、各自治体への災害対応は平等では。  
**答** 基幹災害医療拠点病院と自衛隊が同じ市に立地する優位性はゆるぎないものと考えます。  
**問** 1期4年の任期では、10年から15年の内に移転するの理解を得ると捉えてよいか。  
**答** 任期中においては、検討の俎上に載せていただけのよう理解を得る努力を重ねていきます。

**問** 階段の段差を識別するための色分けは。  
**答** 市役所前の段差は3年度に黄色の滑り止めテープを施工しました。その他の主要な公共施設も状況を確認し対応します。  
**問** バリアフリートイレの設置は。  
**答** 「滝沢市公共施設等総合管理計画」において、公共施設等の計画的な改修などによるユニバーサルデザインを進めています。各施設の状態を踏まえ対応します。  
**問** 問こえの悪い方の窓口対応は。  
**答** 常時、メモ用紙や筆記用具などを窓口設置しています。状況によっては別室で対応するなど配慮をしています。イヤホンについては必要に応じて設置を検討します。  
**問** 小岩井駅ホームに小学生用ラインの設置は。  
**答** 黄色ラインの内側に小学生用の待機ラインを



公明党  
小田島清美 議員

○ユニバーサルデザインの街づくりについて  
 ○除排雪について

別に設置することは特に有効と考えますので、JR東日本へ要望します。  
**問** 除雪後の雪の塊を除雪できない高齢者世帯への排雪の実施は。  
**答** 排雪作業は、バス路線などの第1主要路線を除き原則行いません。高齢世帯で除雪ができない世帯に対しては、要請があった場合、福祉除雪作業班が玄関先から道路に接する通路の除雪を行っています。

# 【歳出審査】環境厚生分野

## 環境保全対策事業

**Q:** A類型の大腸菌数の基準値300CFU/100ml以下に対する達成率80%とは。

**A:** 分析項目5つのうち4項目が基準をクリアしているため、80%となっていますが、取り立てすぐ心配することはないと考えます。

## 滝沢・雫石環境組合負担金

**Q:** 年々増加している要因と2市町のゴミ搬入量の動向は。

**A:** 維持修繕によるものです。3年度の「1人当たりの家庭系ごみ量」で見ると、滝沢市571g、雫石町669gとなっています。

## 家庭児童相談員設置事業

**Q:** 件数とアフターケアの実態は。

**A:** 新規相談受付件数74件のうち児童虐待として取り扱った件数は36件です。家庭児童相談員を2名配置しており、継続支援が必要な家庭には電話や家庭訪問などで状況確認を行い、サービス・支援につなげています。また、保育園や学校と連携を図りながら継続支援を実施しており、虐待の再発や未然防止に努めています。



待機児童および既存施設の老朽化の解消を図るため、巣子保育園の移転新築工事が実施されました。

現地視察では、新園舎や運営状況などを確認しました。

◀ 巣子保育園内

## 育児支援事業

**Q:** 乳児全戸訪問事業における訪問実施割合が低下した要因は。

**A:** 里帰り期間が延び、里帰り先での訪問を希望する方や感染症の流行に伴い電話対応を希望する方がいたこと、また、訪問スタッフの体調管理などにより実施割合が低下しました。



## 前立腺がん検診事業

**Q:** 受診者数減少の要因は。

**A:** 周知方法を医療機関の受け付けや特定健診の受診票での申し込みに変更したことが要因と捉えています。

## 認知症総合支援事業

**Q:** 認知症を支援する活動団体等への予算的支援は。

**A:** チームオレンジの活動チラシの作成や感染対策用品、認知症カフェ実施にかかる経費など、市でも支援しました。

### 9月会議一般質問



日本共産党  
仲田 孝行 議員

○本市のインボイス制度の扱いについて

○放課後児童クラブへの給食提供について

インボイス制度導入後、本市の免税業者への物品・工事発注の継続は。

**答** 基本的に地方自治体は消費税を納税する必要がないため、制度開始後もこれまでどおりの取り扱いです。

**問** 制度導入後の公益財団法人学校給食会や同シ

ルバー人材センターの取り引き状況の予想は。

**答** 学校給食会は課税事業者のため従来通りです。滝沢市シルバー人材セン

ターは導入後のシミュレーションを実施し、会員の配分金からの仕入れ控除額減少分を当初予算に計上するなど制度導入への対応をしています。

**問** 長期休暇中の放課後児童クラブ通所者へ、給食設備を利用して昼食を提供する考えは。

**答** 学校給食センターは新学期を迎えるための施設・設備の点検整備や全体的な清掃などをしており、施設を稼働しての昼食提供は考えていません。

**問** 昼食宅配業者と提携し、昼食の提供支援をする考えは。



市民クラブ  
山谷 仁 議員

○がん撲滅の一步としての計画について

○海外、国内の友好都市など視察復活について

**問** 日本のがん発症率と男性の死因第3位である胃がんは、罹患した人の99%がピロリ菌感染に関連しているとの報告がある。中学生、20歳、30歳と検査を行えば、感染予防につながるかと考えるが、これまでのがん検診に加え、率先してピロリ菌検査を実施する考えは。

**答** 国立がん研究センター発表の「有効性評価ガイドライン」で、ピロリ菌

抗体検査は、死亡率減少効果の有無を判断する証拠が不十分なため、対策型検診としては推奨せず、個人の判断で行うべきと示されています。

陽性の場合、除菌やその後のフォロワーが必要とされ医療機関での実施が望ましいことから、市の導入は考えていません。

**問** 平成時代に中学生海外派遣制度があり、派遣事業が実施されていた。本市の教育的観点から、

派遣事業が実施されていた。本市の教育的観点から、

派遣事業が実施されていた。本市の教育的観点から、

派遣事業が実施されていた。本市の教育的観点から、

# 【歳出審査】産業建設分野

## 滝沢市シルバー人材センター補助事業

**Q:** 加入率が年々減少しているが対策は。

**A:** 会員確保の取り組みとして月1回の入会説明会を実施しています。今後も独自事業および各種イベントの参加により会員拡大を図ります。

## 中山間地域等直接支払交付金事業

**Q:** 耕作放棄地の発生防止の対策は。

**A:** 農業委員会と連携した農地パトロールで状況を把握し、地域を守るための法人設立によるセーフティーネットの構築で、耕作放棄地の解消を図っています。

## 地域人材育成のための事業

**Q:** 関係機関と連携した取り組みの具体例とその成果は。

**A:** 子ども向けのプログラミングワークショップを実施しました。毎回定員を超える申し込みがあり、将来のIT人材の育成に向けて関心の高い取り組みでした。



ふれあいの森がリニューアル！  
開園してから30年が経ち、老朽化が進み使用禁止になっていた遊具が撤去され、新たに複合遊具1基、クライミング遊具1基、背伸ばしベンチ2基が更新されました。  
現地では、急な坂道に階段や手すりも設置されていることを確認しました。

◀ 滝沢総合公園ふれあいの森

## 市道除排雪事業

**Q:** 除雪満足度の目標値と実績値の違いの改善は。

**A:** 満足度のアンケートの地域乖離は、地域ごとに異なる雪の処理の課題があると捉えており、地域と意見交換を重ね課題解決に努めました。



## 河川維持管理事業

**Q:** 浚渫対象河川には天然記念物のカワシンジュガイの生息群落があるが、対策の結果は。

**A:** 「滝沢市カワシンジュガイ生息調査報告書」に照らし、教育委員会に支障がない旨を確認し工事を実施しています。

## 水道事業会計

**Q:** 給水区域内人口が減っていることを確認したが、この状況の考察は。

**A:** 大学生の転居や入学などにより1年間で人口の増減が大きい地域であることから、調査日による偏りであり事業への影響は無いと考えます。

## 9月会議一般質問



自由民主クラブ  
村木 香織 議員

○投票率向上の取り組みについて

○地域除雪について

**問** 市議会議員選挙における投票率向上に向けた具体的な取り組みは。

**答** 防炎行政無線による周知および投票の呼びかけや選挙公報の全戸配布により周知に努めました。また、新たに選挙執行を周知するチラシの作成、全戸回覧を実施し、岩手県立大学の学生サークル「県大ポーターズ」協力のもと、SNSを通じた選挙情報の発信を行いました。

**問** 「有権者の来場を待つ状況は。

**答** 自治会などで除雪懇談会などを実施し、除雪に対する市民の皆さまの理解を深めるとともに、地域ごとに異なる課題を

**問** 投票所の増設について

**答** 移動期日前投票所は、選挙に係るシステムなどの課題を整理するとともに、解決に向け引き続き検討します。

**問** 地域除雪活動の推進状況は。

**答** 自治会などで除雪懇談会などを実施し、除雪に対する市民の皆さまの理解を深めるとともに、地域ごとに異なる課題を

**問** 高齢者の実績や経験、知識の活用について

**答** 中小企業などでは長年蓄積された技術や経験が若者世代に継承されないことが課題です。若者の人材育成のために高齢者に期待する役割は大きいと認識しています。

**問** 第2次滝沢市総合計画基本計画案の「こどもまんなか滝沢」は最も求められる課題と認識する

**答** 元気な高齢者がサポートを必要とする人のサポートタールとして活躍できる互助

**問** 投票所の増設について

**答** 新たに投票所を増設するには投票区の見直し、施設の確保、立会人や事務従事者の確保など課題があり、増設に至っていませんが、投票しやすい環境の整備に努めます。

**問** 投票所の増設について

**答** 投票所の増設については、高齢者の知識や経験、知識の活用は、知恵を活かす場の創出は、元気な高齢者がサポートを必要とする人のサポートタールとして活躍できる互助